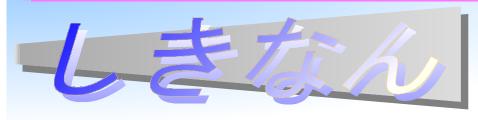
学校教育目標「豊かな人間性とたくましく生きぬく力を身につける子どもの育成」



敷島南小学校 学校だより No.9 令和3年7月20日 学校長 丸茂和也

♪72日間の1学期をふり返って♪

4月6日(火)に入学式が行われ、7日(水)から始まった1学期が今日で終わりとなります。始業式の翌日から体育館は改築、取りこわしに入り、2月の完成を待つこととなりました。

今年も感染症防止対策のために、手洗いや消毒を日々行い、3密を避けるなど、授業や時間割等を始め、学校の教育活動すべてにおいて工夫を行ってきました。5月末には別の感染症対策も行なわなければならない状況でしたが、多くの方々のご尽力ご協力のおかげをもちまして、何とか乗り越えることができました。



梅雨が明け、本格的な夏がやってきました。エアコンを使いながらも、暑さの増す 教室で子どもたちがマスクを着けて、一生懸命学習している様子を多く目にしました。 本当によくがんばってくれているなと感じました。



保護者の皆様には毎日の検温や健康観察を始め健康管理にご協力いただきました。ご家庭や地域が学校と一体となって、子どもたちの健康安全を守るために、力を尽くしてくださいました。1学期の終業日である本日を迎えられたことを、心より有難く思っております。

明日から36日間の夏休みになります。今日を迎えられ

たことは当たり前でない、有るのが難し、有難いことなのだという思いを深くしています。先日目にした本の中で、幸せになるために大切なことは2つある。それは「笑顔」でいること、「ありがとう」をたくさん言うこと、言われることと書いてありました。また「ありがとう」に関するこんな内容を目にしました。

あなたは「ありがとう」の反対語を知っていますか!?

ありがとうの反対語など 今まで考えたこともなかった。 教えてもらった答えは・・・

「あたりまえ」

「ありがとう」は漢字で書くと「有難う」「有難(ありがた)し」という意味だ。

あることがむずかしい、まれである。めったにない事にめぐりあう。 すなわち、奇跡ということだ。 奇跡の反対は、「当然」とか「当たり前」

我々は、毎日起こる出来事を、当たり前だと思って過ごしている。 歩けるのが、あたりまえ。目が見え、耳が聞こえるのが、あたりまえ。 当たり前 ATARIAMAE 在ると気づかない ARUTOKIDUKANAI

手足が動くのが、あたりまえ。毎朝目覚めるのが、あたりまえ。 食事ができるのが、あたりまえ。息ができるのが、あたりまえ。 友達といつも会えるのが、あたりまえ。太陽が毎朝昇るのが、あたりまえ。 うまれてきたのが、あたりまえ。家族が毎日帰ってくるのが、あたりまえ。 そして…



生きているのが、あたりまえ。

また、ある夫婦の話もしてくれた。

晩酌の時、いつも無口の夫が、「ちょっと、お酌してくれないか?」と珍しく妻に言った。 台所の片付けをしていた妻は、「今、忙しいから自分でやって」と答えた。

夫は少し寂しそうだったが、手酌で酒をついだ。

その、2~3時間後、夫は急に倒れ、救急車で病院に運ばれ、帰らぬ人となってしまった。 それから妻は、何故あの時、夫にお酌をしてあげなかったのかと、ずっと悔やんだという。

あの時何故、もっと、優しい言葉で、こぼれるような笑顔で、感謝の言葉で、 接することができなかったのか…

誰しも、今日と同じ日が明日も繰り返されると思う。

今日、誰かと出逢い、話し、笑い、食事をして、仕事ができる。 こんな当たり前だと思うことが、本当は奇跡の連続なのだ。

「有ること難し」

生きて、出逢う、という奇跡の連続に、「ありがとう」を言わずにいられない。

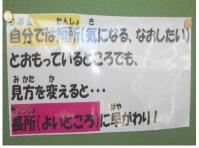
4月から現在までをふり返ってみると、「当たり前と思っていたことは、本当は有難いこと」と いうことをより深く感じる時となりました。1学期の終業に際し、改めて「ありがとう」をたく さん感じて伝え合う、「笑顔」でみんなが生きていける敷島南小でありたい、そんな思いを感じて いるところです。1学期間、学校の教育活動に際する多くのご理解ご支援ありがとうございまし た。健康安全で実り多い夏休みであることを願っています。

♪「リフレーミング」のすすめ♪

保健室の掲示板に「リフレーミング」についての掲示があります。 リフレーミングとは、たとえば「落ち着きがない」→「こまめに動 く、活発で元気」「面倒くさがり」→「おおらか、細かいことにこだ わらない」というように、自分では短所(気になる、直したい)と 思っていることでも、見方を変えると長所(良いところ)に早変わ りというように物事を見る視点を変えていくというものです。右の



写真のようにコップの水が半分しかない,と思うよりもまだ半分もあるという見方をする方が,



自信をもって次の一歩を踏み出すことができます。

河住先生は「リフレーミングをすることで、自分のことを好きに なってもらいたい」という願いを込めてくださいました。リフレー ミングでみんなが、「人が好き、自分が好き」そんな気持ちをたくさ ん感じて、未来へ踏み出していけますように・・・・・

本校ではホームページを通じて、学校生活の様子を伝えています。ホームページの「お知 らせ」のコーナーに最新の様子が掲載されています。是非アクセスしてみてください。

http://www.city-kai.ed.jp/smsho/